

授業科目	*臨床栄養学実習Ⅱ					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	渡邊 和美						
授業概要	<p>栄養問題が多様化、複雑化する中で個人に対する栄養管理の重要性は広く認められるようになつた。そのため、臨床では栄養ケア・マネジメントや栄養管理プロセスが導入され、実践されている。特に、栄養教育を行う中で、対象者の食生活の状況やその背景といった様々な情報収集して総合評価・問題点を明確にし、栄養診断を行うことが、その後の傷病者の個々の特性を生かした個別の栄養管理（目標設定や栄養教育）に大きな意味を持つ。</p> <p>本科目では、実務家教員として病院の実務に従事した経験をもとに、栄養管理プロセスについて解説し、その一連の流れを実践することにより臨床における栄養管理を深く考察させ、基本的なスキル修得と実践力を養うことを目的とする。さらに、傷病者に対する食事療法を支援する集団栄養教育の指導を行い、傷病者や関連職種とのコミュニケーションスキルや接遇および EBM(evidence-based nutrition)に基づいたプレゼンテーションを行う技術を修得する。</p>						
授業形態	対面授業	授業方法	実習				

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>栄養ケア・マネジメント、栄養管理プロセス（栄養スクリーニング、栄養アセスメント、栄養診断、栄養介入）の内容と意義について説明することができる。（DP1-2, DP2-1, DP2-2）</li> <li>症例に対して、病態、食事療法について理解し、目的に沿ったアセスメント項目を選択、アセスメントを実施、栄養診断、課題特定、目標設定を行うことができる。（DP2-1）</li> <li>症例の目標達成のため、適切な栄養教育プログラムを立案できる。（DP1-2）</li> <li>ロールプレイングを通して、病態に応じた個人栄養教育、集団栄養教育を実践できる。（DP3-1, DP3-2）</li> <li>グループ学習を通して、コミュニケーションスキルを獲得することができる。（DP1-2, DP2-1, DP2-2）</li> </ol>
理想的レベル	標準的レベル1～5の全てを達成したうえで、本実習で行った以外の症例・事例についても応用することができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	55%	
レポート外の提出物	35%	演習や課題で実施する指導計画等
その他	10%	演習や課題への積極的な取り組み

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NT22105J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

予習：テーマの予習をし、まとめる。 復習：テーマの復習をし、まとめる。	1回の目安時間（時間） 4
--	------------------

## 授業計画

第1回	<p>テーマ：オリエンテーション 臨床における栄養管理に関するマネジメントシステム（栄養ケア・マネジメント・栄養管理プロセス）について解説し、症例を用いて演習する。</p>
第2回	<p>テーマ：オリエンテーション 臨床における栄養管理に関するマネジメントシステム（栄養ケア・マネジメント・栄養管理プロセス）について解説し、症例を用いて演習する。</p>
第3回	<p>テーマ：身体計測による栄養状態の評価 アセスメントキットを用いた身体測定の手技と評価方法を学び、得られた結果から、栄養状態の評価を行う。</p>
第4回	<p>テーマ：食事調査・フィジカルアセスメントによる栄養状態の評価 24時間思い出し法による食事調査を実践し、フィジカルアセスメントを含めた栄養状態の評価を行う。</p>
第5回	<p>テーマ：栄養アセスメントと栄養診断 栄養評価に関わる各種パラメータを総合的にアセスメント（評価・判定）し、栄養診断を行う。</p>
第6回	<p>テーマ：栄養ケア計画の立案 栄養のアセスメント・栄養診断に基づいた栄養ケア計画（食事計画、栄養食事指導計画、モニタリング計画）を立案する。</p>
第7回	<p>テーマ：傷病者に対する栄養教育 傷病者に対する栄養食事指導のロールプレイを行い、傷病者の理解を深め、コミュニケーションスキルを習得する。</p>
第8回	<p>テーマ：栄養スクリーニングの基礎 臨床で活用されている栄養スクリーニングツールの特長をまとめ、演習を行う。</p>
第9回	<p>テーマ：低栄養（褥瘡併発）の栄養管理・栄養診断（症例検討） リフィーディング症状を有する低栄養（褥瘡併発）の症例の病態の理解を深め、栄養管理計画書を作成する。</p>
第10回	<p>テーマ：代謝疾患の栄養管理・栄養診断（症例検討） 糖尿病症例の病態、EBMに基づいたガイドラインについて理解を深め、栄養管理計画書を作成する。</p>
第11回	<p>テーマ：循環器疾患の栄養管理・栄養診断（症例検討） 脂質異常症症例の病態、EBMに基づいたガイドラインについて理解を深め、栄養管理計画書を作成する。</p>
第12回	<p>テーマ：慢性腎臓病の栄養管理・栄養診断（症例検討） 慢性腎臓病症例の病態、EBMに基づいたガイドラインについて理解を深め、栄養管理計画書を作成する。</p>
第13回	<p>テーマ：臨床における集団栄養教育1 各病態のテーマ設定に基づき、課題を整理し、栄養教育計画と指導案を作成する。</p>
第14回	<p>テーマ：臨床における集団栄養教育2 病態の理解を深め、EBMに基づいたプレゼンテーション資料（スライド、リーフレット等）作成のポイントについて解説し、作成する。</p>
第15回	<p>テーマ：臨床における集団栄養教育3 集団栄養教育を実践する（グループ発表）。</p>

テキスト	必要に応じて資料を配布する。 ステップアップ臨床栄養学実習 第2版（建帛社） JARD2001 対応栄養アセスメントキット（発売元：Nutrition Assessment）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	日本栄養士会監修「栄養管理プロセス」（第一出版） 日本栄養士会編「管理栄養士・栄養士必携」（第一出版）
課題に対するフィードバックの方法	テスト・課題内容に関しては授業中に指示する。
学生へのメッセージ・コメント	本科目は、管理栄養士養成課程で定められている「専門分野」に位置付けられた臨床栄養学の実習科目です。臨床において個人・集団の栄養教育を実施するには、これまで学んだ科目を関連づけて対象者の課題を的確に把握し、行動変容できるよう支援する知識・技術が必要です。また対象者に対応する接し方や態度も重要となります。ロールプレイイングを通して、コミュニケーションスキル、カウンセリングスキルを高めていきましょう。

